
計測の実施・広告表示への反映方法等の論点(案)

計測の実施・広告表示への反映方法等の論点(案)

【スマートフォン安心安全強化戦略の提言】

事業者中立的な実効速度の計測・公表等の在り方について実証を含め検討するとともに、通信速度の広告表示等について、実測値を表示・併記する等、利用者に分かりやすく情報提供する方策を検討する。

1 計測の実施に関する論点

○事業者中立的な計測・公表を実施するには。

- ・実施主体による中立的な視点の確保が必要か(例:国や第三者機関による実施等)。
- ・実施主体によらずとも、実施プロセスの共通化により、中立的な視点の確保ができないか(例:国や第三者機関による計測場所の選定・提示、一定期間内での計測の実施、計測サーバの共通化 等)。
- ・実施主体、実施プロセスの共通化によらずとも、計測項目・手法の共通化により、中立的な視点は十分か。等

○過度なコスト負担とならず、持続可能であるには。

- ・各事業者が、個別に実施するのではなく、共通の実施機関がまとめて実施することが効率的か。
- ・共通の実施機関による実施よりも、各事業者のリソースや経験等を活用して実施することが効率的か。
- ・実証実験で活用した計測環境(計測サーバ、計測ソフト等)は有効に活用できないか 等

○サービスや端末への柔軟な適用を可能にするには(利用者選択の機会に適切かつ有効に機能するには)。

- ・各事業者共通の実施時期を設定することが効率的か(例:年1回、〇月等)。
- ・サービス環境の拡充や端末機能の向上等、各事業者の状況に合わせ、個別に適用することが効率的か。 等

計測の実施・広告表示への反映方法等の論点(案)

2 利用者への情報提供手法に関する論点

- 利用者への情報提供手法(計測結果の公表及び広告表示)については、次の観点のバランスを踏まえた方法を検討することが必要ではないか。
 - ・一般利用者にとって分かりやすく誤解しにくい表示
 - ・一般利用者にとって必要と考えられる情報の表示
- 計測結果の公表はホームページ、広告表示は各事業者のカタログ・パンフレット、CM等が想定されるが、次の論点が考えられるのではないか。

○ 計測結果の公表(ホームページ)

- ・利用者が積極的に情報収集するために参照すること、掲載できる情報量が比較的自由であることを踏まえ、どのような情報の公表が望ましいか。
- ・公表の方法
 - 各事業者の全ての計測地点における結果を公開することが利用者にとって必要な情報となるか。
 - 各事業者の全ての計測地点における結果を公開しない場合、分かりやすく誤解しにくい表示として、どのような計測結果公表が望ましいか。
(例:地域・端末等ごと、一定幅(計測結果○%の最大・最小等)、固定値(計測結果○%の平均値・中央値等)による集約 等)。
- ・公表の主体
 - 計測結果は、どこに表示されると分かりやすいか。(例:計測実施主体HP(事業者が実施主体でない場合)、事業者HP)

○ 広告表示(各事業者のカタログ・パンフレット、CM等)

- ・利用者が一般的に見る可能性が高いこと、掲載できる情報量が限られたものであることを踏まえ、どのような広告表示が望ましいか。
- ・実効速度の併記を行うことを必要とすべきか。

○ 実効速度の併記を行う場合

- ・どのような場合・対象に実効速度の併記を行うことが必要か。(例:ベストエフォート等によるサービスに関する速度訴求が行われている場合 等)
- ・各事業者の個別の計測結果に基づく表示、全事業者の全体の計測結果に基づく表示のどちらが望ましいか。
- ・一定幅(計測結果○%の最大・最小等)、固定値(計測結果○%の平均値・中央値等)による表示のどちらが望ましいか。
- ・新規サービス導入時等において、広告媒体作成・印刷等までの期間が短く、表示に反映することが困難な場合の取扱い(例えば、計測結果が公表されるHPのリンク等を記載)をどのように考えるか。
- ・各事業者が独自に追加的な場所(ランドマーク等)で計測した結果による表示や計測実施主体以外のリサーチ会社等による結果に基づく表示の取扱いをどのように考えるか。複数の併記を行うこととした場合、利用者の混乱を来さぬよう、例えば、計測条件等を記載するなど一定の条件が必要か。

○ 実効速度の併記を行わない場合

- ・広告表示において、利用者に対し実効速度に関する情報提供方策として適当な手段はあるか。

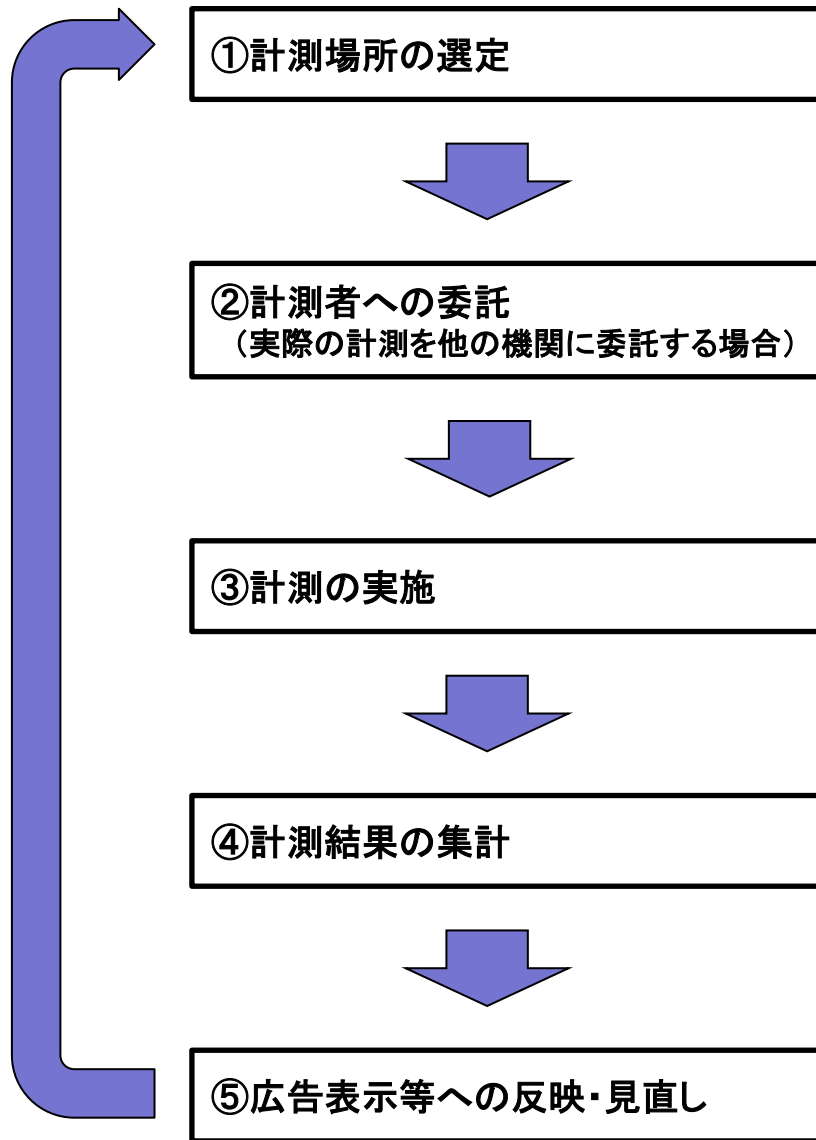
計測の実施・広告表示への反映方法等の論点(案)

3 その他の論点

○計測の実施／結果の公表／広告表示への適用の対象は。

- ・利用者の大半を占め、サービスインフラ基盤を提供するMNO事業者への適用が優先されるべきか。
- ・スマートフォンやモバイルルータといった通信速度が利用者選択に深く関わる端末への適用が優先されるべきか。

(参考)計測の実施プロセス



【論点】

- ・実施プロセスの共通化により、中立的な視点の確保ができないか(例:国や第三者機関による計測場所の選定・提示)。

【論点】

- ・実施プロセスの共通化により、中立的な視点の確保ができないか(例:一定期間内での計測の実施、計測サーバの共通化等)。
- ・実証実験で活用した計測環境(計測サーバ、計測ソフト等)は有効に活用できないか
- ・各事業者共通の実施時期を設定することが効率的か(例:年1回、〇月等)。
- ・サービス環境の拡充や端末機能の向上等、各事業者の状況に合わせ、個別に適用することが効率的か。

【論点】

- ・計測結果の公表において、どのような情報が公開されることが必要か。
- ・広告表示において、実効速度に関する情報提供がどのようにされると分かりやすいか。等